

業 務 状 況 説 明 書

(令和7年4月1日～令和7年9月30日)

1 事業の概要

令和7年度上半期の有収水量は803,181^mとなり、令和6年度の下半期と比較して139^m増加しました。また、令和6年度の上半期と比較した場合は、13,796^mの増加となりました。

また、令和7年9月30日現在の水洗化人口は18,633人となり、令和7年3月31日現在と比較すると67人増加し、令和6年9月30日現在と比較すると160人増加しました。

2 経理の状況

(1) 収益的収入及び支出の経理の状況

令和7年度上半期の収益的収入の調定済額は307,294,820円(税込み)となり、予算現額に対する執行率は39.6%です。また、長期前受金戻入を除いた場合の予算現額に対する執行率は、66.6%となります。

令和7年度上半期の収益的支出の支出負担行為済額は211,651,968円(税込み)となり、予算現額に対する執行率は28.5%です。また、減価償却費を除いた場合の予算現額に対する執行率は、73.7%です。

(2) 資本的収入及び支出の経理の状況

令和7年度上半期の資本的収入の調定済額は46,877,550円(税込み)となり、予算現額に対する執行率は17.4%です。

令和7年度上半期の資本的支出の支出負担行為済額は217,352,542円(税込み)となり、予算現額に対する執行率は50.2%です。

3 令和6年度の決算状況

令和6年度の下水道事業会計の収益的収支の決算額(税抜き)は、下水道事業収益が733,627,444円、下水道事業費用が702,253,518円、当年度純利益が31,373,926円となり、当年度未処分利益剰余金は201,323,650円となりました。なお、下水道事業収益のうち下水道使用料は、227,697,892円でした。

令和6年度の資本的収支の決算額(税込み)は、資本的収入が245,315,545円、資本的支出が451,206,568円、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は205,891,023円となり、この資本的収入が資本的支出に対して不足する額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額9,503,823円、当年度分損益勘定留保資金124,274,275円及び繰越利益剰余金処分数39,312,925円で補填したほか、なお不足する額32,800,000円(未払相当分)については、令和5年度同意の企業債の未発行分9,200,000円と令和6年度同意の企業債の未発行分23,600,000円をもって、翌年度に措置することとしました。

(1) 下水道使用料の状況

令和6年度の年間有収水量は1,624,393 m³で、令和5年度と比較すると1,424 m³増加しました。

また、下水道使用料の収入額は税抜きで227,697,892円、税込みで250,454,190円となり、令和5年度の下水道使用料と比較すると税込みベースで2,037,440円の増加となりました。

(2) 主な建設改良工事等の状況

・汚水枝線整備工事

汚水管きよを0.4 km 布設し、その結果、汚水管きよの総延長は、民間事業者からの帰属分を合わせて、112.5 km になりました。

・大池調整池整備工事

文違地先に設置した大池調整池の整備に伴う管理用道路などの工事を行い、大池排水区の浸水被害の防止を図りました。

・マンホールポンプ交換工事

老朽化したマンホールポンプ2基を新品に交換し、施設の長寿命化を図りました。

・マンホール蓋交換工事

老朽化したマンホール蓋19枚を新品に交換し、施設の長寿命化を図りました。